



すぎもと通信

2014.7.16



当院では、可能な方には出来る限り

「ラバーダム防湿法」を行っております。

ラバーダム防湿法とは
薄い布状のゴムシートに穴をあけて
金具で歯に固定し
治療する歯だけを露出させるものです。

目的としては

① 治療歯を細菌感染から守る

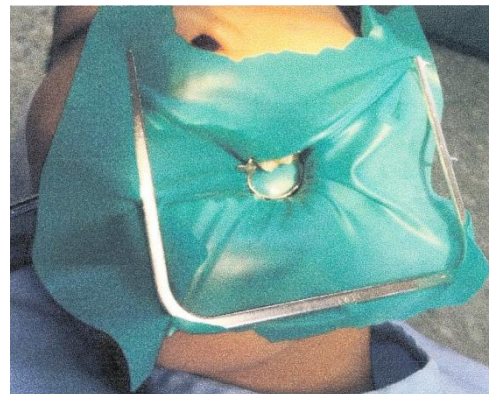
お口の中の唾液中にはたくさんの細菌が住んでいます。
歯の治療（特に歯の根の治療）時に出来る限り唾液に触れさせないことがとても重要です。

② 視野が明瞭になる

ラバーダム防湿を行うと舌、頬、唇をミラーなどで引っ張ったりする必要がありません。
ゴムシートから上には治療に必要な歯だけが出ている状態ですので
治療歯がとても見やすくなります。

③ 乾燥状態を保つ

口の中は唾液によって浸潤していますが
治療内容によっては唾液に触れることで
薬の効果が落ちたり、唾液中の細菌により
感染し治りが悪くなることがあります。
ラバーダム防湿を行うことで
治療したい歯の乾燥状態を保つことが出来ます。



④ 器具の誤飲・誤嚥を防ぐ

口の中では多種多様の細かい器具を用います。
とくに小児の場合、緊張や恐怖心等で急に体を動かしてしまうことがあります。
そういった際に口の中に薬品や器具が誤って落下しても
ラバーダム防湿をしておけば、誤飲・誤嚥を防ぐことができます。

<小児の治療の様子>

※ラテックスアレルギーの方はお申し出ください。